

みんなの文芸



俳句 うらほろ俳句会

声あげて追う子逃げる児夏帽子
大早十勝野無言の喘ぎかな
病院の行き来に見ゆる朴の花
流行歌沁みるよ初夏の風までも
昼下がり駅員独り蝉時雨
花震う地球ウイルス流れゆく

井下まさの
大山みどり
黒田ちえ子
柴田 弘子
菅谷 日月
福原 仁子

川柳 浦幌川柳会

ひと匙の俵せ買い足し曆剥ぐ
好きなのに仲々良い句に恵まれぬ
温暖化悪魔目覚て毒を吐く
播種を待ちカラスと鳩が探す餌
今日も又綻び見つめて苦笑い

阿部 麗紅
橋本 葉子
大山 研
阿部 優仙
加藤 未貴

川柳 上浦幌句の会

つづく好日花のよろこび我までも
好日に昼の頑張り夜疲れ
姪夫婦に甘んじドライブ白糠港
祖父母が植えたか今年も咲く老梅
いつ収まるコロナウイルスもういや
夏の夜虫にさされてかゆいかゆい

笹島カヨ子
芳川 乙美
加藤 明敏

短歌 心友愛会

公園でさくら見ながら焼肉を
楽しく食べて笑顔あふれる
今年又野菜作りを楽しみに
気を付けながら体動かす
野菜を取り今年も行けると楽しみに
主人はよわく心がしずむ
にわの草元気で伸びる姿見て
草取りしては自分は疲れ
今までは子供に世話にならないと
決めていたけど心がわりて
路の臺庭に咲いてるクロッカス
こよなく春を愛しているか
なにもかも植上げねあげで春きたり
財布の中も木枯らし吹くや
春の庭彩とりどりに咲き乱れ
生きる喜び我を包みて

小川 房子
泉 久子
浅野 京子
谷向 成子
山岸 明美
中田 麗子
佐藤 成子
星 愛子

編集後記

■昨年度のふるさと寄附の総額が3463万円ということで、たくさんの方から浦幌町は応援されているのかなと感じております。ご寄付いただいた方々の期待に応える「まちづくり」が必要であると感じたところです。

■浦幌新聞でわかるとおり、いろいろなことを制約しながらではありますが、各学校も行事や学習が再開しております。花壇整備や農園活動の写真を見ていると、どんな時でも地域の方々が学校と連携し、共に地域の子ども達を育てていくことは大事なことであると感じました。

(〇泉)

■掲載された写真は、差し上げますので(本人または家族)、お気軽にご連絡ください。